

第3回 宇野港宇野地区中長期ビジョン検討会 議事要旨

○ 日時 令和8年1月27日(火)10:00～12:00

○ 場所 玉野市役所3F 大会議室

○ 出席者 出席者名簿のとおり

○ 議事要旨

1. 開会

2. 開会挨拶

- ・ 橋本座長より冒頭の挨拶

3. 議事

(1) 宇野港宇野地区中長期ビジョン(案)の作成に向けた検討について

① 将来像・基本戦略・具体的な取組について

(玉野商工会議所 加藤委員)

- ・ 「SETOUCHI GATEWAY」はよいと思う。ただ、目的地になるだけでなく、心理的にも地理的にもスタートできる場所であることをアピールしてもよいのではと思っている。

(宇野港振興協会 宮原委員)

- ・ サブタイトルとして目的地があり、観光客だけではなく地元の方も集まり、賑わうということが将来像として非常にまとまっている。

(宇野港航路誘致推進協議会 玉置委員)

- ・ 戦略として玉野市拠点の観光プランがあるが、宇野港宇野地区中長期ビジョンは宇野港宇野地区を拠点としたものであるため、範囲が広すぎると不自然だと思う。

(うの港13 山本委員)

- ・ 拠点の範囲は小さい方がよいため、宇野港を拠点としたものがよい。

(橋本座長)

- ・ 本検討会の「観光客」の定義は宇野港周辺に住んでいない方で且つ宇野港を訪れる方を観光客とする。

(事務局)

- ・ 「SETOUCHI GATEWAY」はキャッチフレーズでもあり将来像でもある。

② 今後の取組について

(宇野港振興協会 宮原委員)

- ・ 観光している人たちがどういうものを求めているのかを知るために意見を聞くべきだと思う。また、若い方の意見を聞く機会があればよい。

(玉野商工会議所 加藤委員)

- ・ 地元の方や教育委員会を巻き込んで地元の子供たちの教育の一貫とした取組をすることができれ

ば若い世代も宇野港に目を向け、未来に向かってビジョンやパッションを持つことができると考える。

(宇野港魅力向上委員会 伊達委員)

- ・ 現実的な取組として、ただの案内看板ではなく、観光客が読み込んでくれるような看板を設置できればよいと考える。

(JR 西日本 栃折委員)

- ・ 民間投資を呼び込んでいく場合はふわっとした議論をしているだけでは何も進まないと考える。また、どのように進めるのか具体的な手段も議論していかないといけないと考えるが、責任を持って事業主体を決めるのは非常に難しいのではないかと思う。
- ・ どういう役割分担で行政がどんな立ち回りをしてどのように民間を巻き込んでいるのか、日本全国の港で港のまちづくりを行っている事例を見ながら学んでみるということは如何か。

(宇野港航路誘致推進協議会 玉置委員)

- ・ 様々な主体が実際に事業をするようなビジョンであるため、細かい取組を宇野港宇野地区中長期ビジョン検討会で決めることは難しいと考える。目指すべき方向性から脱線しないように提案していくべきだ。

(玉野市 産業振興部)

- ・ 玉野市の今後の将来に向けたまちづくりにおいて、港湾管理者である岡山県ともしっかりと相談し、将来の事業主体となり得るべき人も巻き込みながら地元自治体としてまちづくりを進め、民間投資も含めて引き込むように玉野市が地元主体として動いていきたい。

(2) その他

- ・ 特になし。

4. 閉会